

一括請求 Assist[®] Ver.2

操作マニュアル

トラブルシューティング

第 2.1 版

目次

はじめに.....	2
1 よくある問い合わせについて.....	3
1.1 よくある問い合わせと基本的な対処方法.....	3
1.1.1 システム環境に関する問い合わせ.....	3
1.1.2 機能に関する問い合わせ.....	8
2 エラーメッセージについて.....	11
2.1 エラーメッセージと基本的な対処方法.....	11
2.1.1 画面入力エラー.....	11
2.1.2 ファイル読み込みエラー.....	13
2.1.3 利用金融機関エラー.....	14
2.1.4 ライセンス入力エラー.....	15
2.1.5 業務チェックエラー.....	16
2.1.6 利用者管理エラー.....	18
2.1.7 CSVフォーマット設定エラー.....	20
2.1.8 システムエラー.....	22
2.1.9 その他エラー.....	23
2.1.10 連携エラー.....	25
3 問い合わせ先について.....	28
3.1 本ソフトの操作及び不明点等について.....	28
3.2 電子記録債権や記録請求の取引内容等について.....	28

はじめに

本書では、本ソフトのよくある問い合わせと、エラーメッセージの出力時の対処方法を例示します。
本書を確認の上、問題が解消しない場合は、必要に応じて各問い合わせ先に確認ください。

1 よくある問い合わせについて


本ソフトの利用時のよくある問い合わせについて、以下に対処方法を例示します。

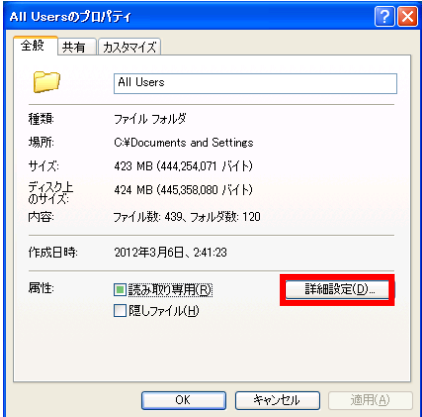
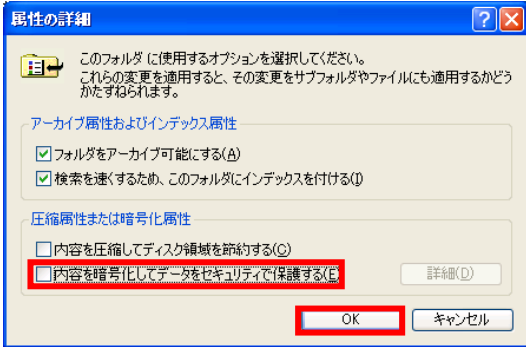
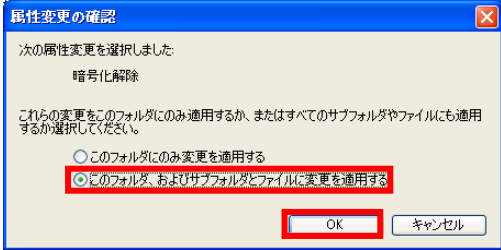
1.1 よくある問い合わせと基本的な対処方法

1.1.1 システム環境に関する問い合わせ

No	問い合わせ内容	対処方法
1	.NET Frameworkをアンインストールしたため、ソフトが正常に起動しない。	<p>本ソフトの動作に必要なため、以下のいずれかの方法で.NET Frameworkを再インストールしてください。</p> <ul style="list-style-type: none">本ソフトのアンインストール・再インストールを実施してください。（本ソフトの.NET Framework 同梱版インストーラをご利用した場合、.NET Frameworkを自動でインストールします）本ソフトのインストーラを利用しない場合は、下記の方法で再インストールしてください。 <p>◇Windows Vista の場合</p> <p>Microsoft のダウンロードサイトから.NET Frameworkをインストールしてください。</p> <p>◇Windows 7、8、8.1 の場合</p> <ol style="list-style-type: none">コントロールパネルを表示「プログラム」を選択（表示方法はカテゴリ）「プログラムと機能」内の「Windows の機能の有効化または無効化」を選択「Microsoft .NET Framework」の項目にチェックを入れ、有効化してください。
2	ソフトが正常に起動・終了しない。	<p>本ソフトのインストールに失敗しているか、インストール後にソフトの起動に必要なフォルダやプログラムが移動・削除された可能性があります。</p> <p>以下のいずれかの対処を実施してください。</p> <ul style="list-style-type: none">本ソフトを使用している PC をシャットダウン・再起動の上、再度操作を実施してください。本ソフトをアンインストール・再インストールの上、再度操作を実施してください。

No	問い合わせ内容	対処方法
3	画面や帳票に出力される日付・時刻が正しくない。	<p>本ソフトで出力される日時は、起動しているPCのシステム日時を利用しています。</p> <p>必要に応じてPCのシステム日時を修正してください。</p>
4	出力した一括請求確認表、一括請求結果確認表、通知確認表が開けない。	<p>◇一括請求確認表、一括請求結果確認表、通知確認表は、「Excel 97-2003ブック (.xls) 形式」で出力されます。</p> <p>Microsoft Excelがインストールされていることを確認してください。</p> <p>◇Windows環境にて、指定することができるファイルパスの最大長は256文字ですが、Microsoft Excelで指定することができるファイルパスの最大長は218文字です。システム設定画面で設定されているファイル出力先のファイルパスが長いと、作成されたファイルが218文字に収まらない場合があります。</p> <p>以下のいずれかの対処を実施してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✚ システム設定画面でファイルパスが短くなるようにファイル出力先を変更して、再度ファイルを出力してください。 ✚ ファイルパスが短くなる位置に出力したファイルを移動して開いてください。 <p>⇒基本操作編「2.16 システム設定画面」参照</p>
5	出力した一括請求用CSVファイル、一括請求結果確認用CSVファイル、通知確認用CSVファイルが開けない。	<p>Windows環境にて、指定することができるファイルパスの最大長は256文字ですが、Microsoft Excelで指定することができるファイルパスの最大長は218文字です。システム設定画面で設定されているファイル出力先のファイルパスが長いと、作成されたファイルが218文字に収まらない場合があります。</p> <p>以下のいずれかの対処を実施してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✚ システム設定画面でファイルパスが短くなるようにファイル出力先を変更して、再度ファイルを出力してください。 ✚ ファイルパスが短くなる位置に出力したファイルを移動して開いてください。 <p>⇒基本操作編「2.16 システム設定画面」参照</p>

No	問い合わせ内容	対処方法
6	コントロールパネル>プログラムの追加と削除からのアンインストール時に、「Error reading set up initialization file」メッセージが表示され、アンインストールできない。	<p>プログラムの追加と削除からのアンインストール時に必要な情報が正常に取得できません。</p> <p>インストール時に実行した本ソフトのインストーラを再度実行してアンインストールしてください。</p>
7	Windows 8、8.1 で日本語項目の入力モードが自動的に切り替わらない。	<p>Windows 8、8.1 環境にて、日本語項目の入力モード（ひらがな、半角）を自動的に切り替えたい場合は、以下の対処を実施してください。</p> <p> コントロールパネル>時計、言語、および地域-入力方法の変更>詳細設定>入力方式の切り替えにて「アプリウインドウごとに異なる入力方式を設定する」を選択し、[保存]を押下してください。</p>
8	デスクトップ、スタートメニューに無効なショートカットが作成される。	<p>特定のフォルダが暗号化設定されている状態でインストールを行うと左記事象が発生します。</p> <p>以下の順に対処を実施してください。 (本操作は、暗号化を解除する権限をもつユーザで実施してください。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. デスクトップにある本ソフトのショートカットを削除してください。 2. スタートメニューにある本ソフトのフォルダを削除してください。 3. 本ソフトをアンインストールしてください。 4. 以下のフォルダ配下の暗号化設定(※)を解除してください。 <ul style="list-style-type: none"> ◇Windows Vista の場合 C:\¥Documents and Settings¥All Users (ローカルディスクがCドライブの例です。) ◇Windows 7、8、8.1 の場合 C:\¥Users¥Public C:\¥ProgramData (ローカルディスクがCドライブの例です。) 5. 本ソフトを再インストールしてください。

No	問い合わせ内容	対処方法
		<p>※暗号化設定の解除方法について (本操作ならびに図については OS により表示内容が異なる場合があります。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. エクスプローラにて、暗号化を解除するフォルダの場所を参照してください。 2. フォルダを右クリックして、[プロパティ]>[全般] タブ>[詳細設定]を押下してください。  <ol style="list-style-type: none"> 3. [内容を暗号化してデータをセキュリティで保護する]のチェックを外し、[OK] を押下してください。2. の画面に戻りますので、[OK] を押下してください。  <ol style="list-style-type: none"> 4. [属性変更の確認]ダイアログが表示されたら、[このフォルダ、およびサブフォルダとファイルに変更を適用する]を選択して、[OK] を押下してください。 

No	問い合わせ内容	対処方法
9	画面項目に必要な桁数の入力ができない。	<p>OS のディスプレイ設定 (DPI 設定) で 100% (96 DPI) より大きい値を指定している場合は、正常に表示できない場合があります。</p> <p>以下の順に対処を実施し、設定を変更してください。</p> <p>◇Windows Vista の場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コントロールパネルを表示 2. 「デスクトップのカスタマイズ」を選択 3. 「個人設定」を選択 4. 「フォントサイズ (DPI) の調整」を選択 5. 設定を「既定のスケール(96 DPI)」に変更 <p>◇Windows 7、8 の場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コントロールパネルを表示 2. 「デスクトップのカスタマイズ」を選択 (表示方法はカテゴリ) 3. 「ディスプレイ」の中にある「テキストやその他の項目の大きさの変更」を選択 4. 設定を「小-100%(96 DPI)」に変更 <p>◇Windows 8.1 の場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コントロールパネルを表示 2. 「デスクトップのカスタマイズ」を選択 (表示方法はカテゴリ) 3. 「ディスプレイ」の中にある「テキストやその他の項目の大きさの変更」を選択 4. 設定を「小さくする」に変更

1.1.2 機能に関する問い合わせ

No	問い合わせ内容	対処方法
1	<p>・画面で入力する口座種別に「9：別段」が選択できない。</p> <p>・[CSV読込]で読込んだファイルに設定した口座種別の「9：別段」が画面に表示されない。</p> <p><対象画面></p> <p>発生記録（債務者）請求作成画面、発生記録（債権者）請求作成詳細画面、発生記録（債権者）請求作成画面、発生記録（債権者）請求作成詳細画面、譲渡記録請求作成画面、譲渡記録請求作成（複数取引先）画面、譲渡記録請求作成（複数取引先）詳細画面、取引先管理画面、社内口座管理画面</p>	<p>システム設定画面で「口座種別区分」を「別段を利用する」に変更します。</p> <p>⇒基本操作編「2.16 システム設定画面」参照</p>
2	<p>メニュー画面に[発生記録（債権者）請求作成]が表示されない。</p>	<p>システム設定画面で[発生記録（債権者）請求]のメニュー表示有無を「表示する」に変更します。</p> <p>⇒基本操作編「2.16 システム設定画面」参照</p>
3	<p>譲渡記録請求作成画面／譲渡記録請求作成（複数取引先）画面／読込CSVフォーマット詳細設定画面において、保証随伴有無が「1：有」しか選択できない。</p>	<p>システム設定画面で「保証随伴有無」を「選択可（保証有り／無し）」に変更します。</p> <p>⇒基本操作編「2.16 システム設定画面」参照</p>
4	<p>[CSV読込]で読込んだファイルに設定した文字と画面に表示された文字が異なっている。</p> <p><対象画面></p> <p>発生記録（債務者）請求作成画面、発生記録（債権者）請求作成画面、譲渡記録請求作成画面、譲渡記録請求作成（複数取引先）画面、取引先管理画面、社内口座管理画面</p>	<p>設定したファイルの以下の点を確認して修正してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 🔗 [CSV読込]で読込むファイルの保存時の文字コードを「SHIFT-JIS」に指定してください。 🔗 本ソフトの使用可能文字を設定してください。 <p>⇒基本操作編「3.6 文字の種類について」参照</p>
5	<p>譲渡記録請求作成画面／譲渡記録請求作成（複数取引先）画面で表示されているデータと譲渡記録請求確認表に出力されたデータの順序が異なっている。</p>	<p>譲渡記録請求確認表については、合わせて出力した一括請求ファイル（譲渡記録請求用）の内容を表示しています。</p> <p>一括請求ファイル（譲渡記録請求用）については、画面上での入力順に関わらず、出力するデータの順序を「一部譲渡」⇒「全額譲渡」の順に並び変えを行っています。</p>

No	問い合わせ内容	対処方法
6	<p>一括請求結果のエラー行を修正して電子記録債権取引システムに再申請したが、違う行のエラーが返却される。</p>	<p>でんさいネットの仕様上、一度の請求では一括請求ファイル内のすべてのエラーがチェックできない場合があります。</p> <p>一括請求結果で返却されたエラー内容について、エラーが返却された行以外にも類似した誤りがないかをご確認の上、修正を実施してください。</p>
7	<p>複数の金融機関を利用するため、ライセンスキーを追加で登録する必要がある。</p>	<p>本ソフトをインストール済で複数金融機関をご利用の場合、インストーラを実行し、ご利用の金融機関のライセンスキーを追加登録してください。</p> <p>⇒業務編「1.4 利用金融機関の追加（ライセンスキーの追加）」参照</p>
8	<p>一括請求ファイル作成時、一括請求結果ファイル読込時、通知ファイル読込時、CSVファイルが出力されない。</p> <p><対象画面></p> <p>発生記録（債務者）請求作成画面、発生記録（債権者）請求作成画面、譲渡記録請求作成画面、譲渡記録請求作成（複数取引先）画面、一括請求結果確認画面、通知確認画面</p>	<p>システム設定画面で「CSVファイル出力有無」の「一括請求ファイル／一括請求結果ファイル／通知ファイル」を「出力する」に変更します。</p> <p>⇒基本操作編「2.16 システム設定画面」参照</p>
9	<p>CSVファイル読込時、一括請求結果ファイル読込時、通知ファイル読込時に利用者情報または利用者IDの自動設定がうまくいかない。</p> <p><対象画面></p> <p>発生記録（債務者）請求作成画面、発生記録（債権者）請求作成画面、譲渡記録請求作成画面、譲渡記録請求作成（複数取引先）画面、一括請求結果確認画面、通知確認画面</p>	<p>◇社内口座管理／取引先管理に、条件に該当する情報が存在しない場合があります。</p> <p>社内口座管理画面／取引先管理画面にて登録されている情報を確認してください。</p> <p>⇒基本操作編「2.12 取引先管理画面」「2.14 社内口座管理画面」参照</p> <p>◇口座情報（金融機関コード／支店コード／口座種別／口座番号）または利用者IDの項目番号（読込位置）が設定されていない場合があります。</p> <p>読込CSVフォーマット詳細設定画面にて、口座情報または利用者IDの項目番号（読込位置）を設定してください。</p> <p>口座情報を設定する場合は、口座情報の4項目（金融機関コード／支店コード／口座種別／口座番号）すべてに項目番号（読込位置）を設定してください。</p> <p>⇒基本操作編「2.19 読込CSVフォーマット詳細設定画面」参照</p>

No	問い合わせ内容	対処方法
10	<p>一括請求結果確認画面にて、一括請求結果ファイルではなく通知ファイルを読込むことができる。</p> <p>通知確認画面にて、通知ファイルではなく一括請求結果ファイルを読込むことができる。</p>	<p>一括請求結果ファイル、通知ファイルは共に同様のフォーマット（でんさいネット標準フォーマット（固定長テキスト形式）1.2版の配信1）であるため、読込むことは可能です。</p> <p>ただし、「取消区分」「エラー情報」等の項目の設定有無が双方のファイルで異なるため、正しい画面にて再度読込みを実施してください。</p>
11	<p>一括請求結果確認画面にて作成した一括請求結果確認表の「エラー内容2」の最下行にメッセージ「※エラーが3つ以上存在する可能性があります。エラー情報（変換前情報）は「{x}」です。」が表示される。</p>	<p>ご利用の電子記録債権取引システムによっては、一括請求結果ファイルの「エラー情報」にエラーが3つ以上存在する場合があります。</p> <p>ただし、エラーが3つ以上存在する場合も還元するエラーは2つであるため、一括請求結果確認表には2つまでのエラー内容が表示され、「エラー内容2」の最下行に下記メッセージが表示されます。</p> <p>「※エラーが3つ以上存在する可能性があります。エラー情報（変換前情報）は「{x}」です。」 （x にはエラー情報（30桁）が表示されます。）</p> <p>上記メッセージが表示された場合は、一括請求結果確認表に表示された「エラー内容1」「エラー内容2」に従い修正し、再度電子記録債権取引システムへアップロードしてください。</p> <p>「エラー内容1」「エラー内容2」のエラーが解消されることにより、以降のエラー情報が含まれる一括請求結果ファイルをダウンロードすることができます。</p>

2 エラーメッセージについて

本ソフトの利用中に出力されるエラーメッセージと対処方法を例示します。

2.1 エラーメッセージと基本的な対処方法

2.1.1 画面入力エラー

No	エラーメッセージ	対処方法																									
1	入力に誤りがあります。	<p>画面で入力した情報が誤っています。</p> <p>画面に表示されているエラーマークにマウスカーソルをかざすとエラーの詳細が表示されますので、確認の上、入力情報を修正してください。</p> <p>チェック内容とエラー詳細の一覧を以下に示します。</p> <table border="1"><thead><tr><th>チェック内容</th><th>エラー詳細</th></tr></thead><tbody><tr><td>必須</td><td>"{※1}" は入力必須項目です。</td></tr><tr><td rowspan="7">形式</td><td>"{※1}" には半角文字を入力してください。</td></tr><tr><td>"{※1}" には半角英数字を入力してください。</td></tr><tr><td>"{※1}" には大文字の半角英数字で入力してください。</td></tr><tr><td>"{※1}" には数字を入力してください。</td></tr><tr><td>"{※1}" には半角カナ文字を入力してください。</td></tr><tr><td>"{※1}" には数字 (0-9)、英大文字 (A-Z)、半角括弧、ピリオド、ハイフン (().-) を入力してください。</td></tr><tr><td>"{※1}" には次の文字を入力しないでください。 " * , . / : ; < = ? [¥] </td></tr><tr><td rowspan="3">範囲</td><td>"{※1}" には {※2} 以上 {※2} 以下の範囲の数値を入力してください。</td></tr><tr><td>"{※1}" には "{※2}" 以降、"{※2}" 以内の日付を入力してください。</td></tr><tr><td>"項目番号" には CSV 項目数以下の数値を入力してください。</td></tr><tr><td>文字列長</td><td>"{※1}" には {※2} 文字の文字列を入力してください。</td></tr><tr><td>利用金融機関</td><td>ご利用対象外の金融機関です。 ※3</td></tr><tr><td rowspan="4">重複</td><td>同一の口座情報が入力されています。</td></tr><tr><td>同一の取引先IDが入力されています。</td></tr><tr><td>同一の社内口座IDが入力されています。</td></tr><tr><td>同一の項目番号が入力されています。</td></tr></tbody></table> <p>※1 エラー該当項目名が表示されます。 ※2 該当範囲が表示されます。 ※3 対処方法については「2.1.3 利用金融機関エラー」参照。</p>	チェック内容	エラー詳細	必須	"{※1}" は入力必須項目です。	形式	"{※1}" には半角文字を入力してください。	"{※1}" には半角英数字を入力してください。	"{※1}" には大文字の半角英数字で入力してください。	"{※1}" には数字を入力してください。	"{※1}" には半角カナ文字を入力してください。	"{※1}" には数字 (0-9)、英大文字 (A-Z)、半角括弧、ピリオド、ハイフン (().-) を入力してください。	"{※1}" には次の文字を入力しないでください。 " * , . / : ; < = ? [¥]	範囲	"{※1}" には {※2} 以上 {※2} 以下の範囲の数値を入力してください。	"{※1}" には "{※2}" 以降、"{※2}" 以内の日付を入力してください。	"項目番号" には CSV 項目数以下の数値を入力してください。	文字列長	"{※1}" には {※2} 文字の文字列を入力してください。	利用金融機関	ご利用対象外の金融機関です。 ※3	重複	同一の口座情報が入力されています。	同一の取引先IDが入力されています。	同一の社内口座IDが入力されています。	同一の項目番号が入力されています。
チェック内容	エラー詳細																										
必須	"{※1}" は入力必須項目です。																										
形式	"{※1}" には半角文字を入力してください。																										
	"{※1}" には半角英数字を入力してください。																										
	"{※1}" には大文字の半角英数字で入力してください。																										
	"{※1}" には数字を入力してください。																										
	"{※1}" には半角カナ文字を入力してください。																										
	"{※1}" には数字 (0-9)、英大文字 (A-Z)、半角括弧、ピリオド、ハイフン (().-) を入力してください。																										
	"{※1}" には次の文字を入力しないでください。 " * , . / : ; < = ? [¥]																										
範囲	"{※1}" には {※2} 以上 {※2} 以下の範囲の数値を入力してください。																										
	"{※1}" には "{※2}" 以降、"{※2}" 以内の日付を入力してください。																										
	"項目番号" には CSV 項目数以下の数値を入力してください。																										
文字列長	"{※1}" には {※2} 文字の文字列を入力してください。																										
利用金融機関	ご利用対象外の金融機関です。 ※3																										
重複	同一の口座情報が入力されています。																										
	同一の取引先IDが入力されています。																										
	同一の社内口座IDが入力されています。																										
	同一の項目番号が入力されています。																										

No	エラーメッセージ	対処方法
2	レコード数が上限（xxxx件）を超えています。	「行挿入」または「貼り付け」実施時に、画面で設定可能なレコード数（行数）が上限を超えたため、行が挿入できません。 上限を超えない範囲で入力情報を設定してください。
3	検索結果は0件です。検索条件を変更して再検索してください。	左記メッセージ内容に沿って対応ください。
4	検索条件が入力されていません。内容を入力の上、検索してください。	左記メッセージ内容に沿って対応ください。
5	指定された行は存在しません。行を変更して再実行してください。	左記メッセージ内容に沿って対応ください。
6	行が入力されていません。内容を入力の上、実行してください。	左記メッセージ内容に沿って対応ください。
7	貼り付けができない情報が含まれています。	左記メッセージ内容に沿って対応ください。
8	貼り付けができない情報が含まれています。コピー元のデータをご確認ください。 (行：xx 対象文字：xx)	貼り付けができない情報が含まれています。 メッセージに表示された「行」と「対象文字」を参考に、コピー元のデータの「対象文字」を除外し、再度貼り付けしてください。また、「対象文字」が必要な場合は、貼り付け後、直接入力してください。
9	項目番号が入力されていません。読込CSV項目設定をご確認ください。	左記メッセージ内容に沿って対応ください。
10	項目番号が入力されていません。出力CSV項目設定をご確認ください。	左記メッセージ内容に沿って対応ください。

2.1.2 ファイル読み込みエラー

No	エラーメッセージ	対処方法
1	データレコードが0件です。対象ファイルをご確認ください。	読み込むファイルには1件以上のデータレコードを設定してください。
2	データ情報が設定されていません。対象ファイルをご確認ください。	読み込むファイルには1件以上のデータ情報を設定してください。
3	読み込上限件数（xxxx件）を超えているため、読み込めません。対象ファイルをご確認ください。	読み込んだファイルに設定されたデータ件数が上限値を超えないよう、データ件数を修正してください。
4	出力上限件数（xxxxx件）を超えているため、読み込めません。	読み込んだファイルに設定されたデータ件数が上限値を超えないよう、読み込む対象ファイルをダウンロードする際に、条件を指定してください。
5	対象ファイルのヘッダレコードの件数が上限（xxx件）を超えているため、読み込めません。	読み込んだファイルに設定されたヘッダレコード件数が上限値を超えないよう、ヘッダレコード件数を修正してください。
6	ファイルサイズが上限（xxMB）を超えています。	読み込んだファイルのファイルサイズが上限値を超えないよう、ファイルを修正してください。
7	文字コードが「EBCDIC」のファイルは読み込めません。文字コードは「JIS」を指定してください。	読み込んだファイルの文字コードが「EBCDIC」であるため、ファイルが読み込めません。 読み込む対象ファイルをダウンロードする際に、文字コードを「JIS」に指定してください。
8	対象ファイルが存在しません。	読み込む対象ファイルが存在しません。再度ファイルを選択してください。
9	ファイルフォーマットが異なるため、読み込めません。対象ファイルをご確認ください。 (行：xx エラー内容：xx)	[CSV読み込み]で読み込んだファイルのフォーマットが正しくないため、ファイルが読み込めません。 メッセージに表示された「行」と「エラー内容」を参考に、読み込んだファイルを修正してください。

No	エラーメッセージ	対処方法
10	ファイルフォーマットが異なるため、読み込めません。 対象ファイルをご確認ください。 (桁：xx エラー内容：xx)	[一括請求ファイル読込]で読込んだファイルのフォーマットが正しくないため、ファイルが読み込めません。 メッセージに表示された「桁」と「エラー内容」を参考に、読込んだファイルを修正してください。 ※読込んだファイルの中に改行コードが含まれている場合、「桁」に表示される情報は、改行コードを除いた桁数となります。
11	ファイルフォーマットが異なるため、読み込めません。 対象ファイルをご確認ください。	読込んだファイルのフォーマットが正しくないため、ファイルが読み込めません。 「CSVファイル一覧」または「固定長ファイル一覧」のフォーマットを参照してファイルを修正してください。 ⇒基本操作編「 6.3 CSVファイルについて 」、「 6.4 固定長ファイルについて 」参照

2.1.3 利用金融機関エラー

No	エラーメッセージ	対処方法
1	ご利用対象外の金融機関です。	画面で入力した情報または読込んだファイルに、ご利用になれない（ライセンスが未登録）金融機関コードが使用されています。 ご利用の金融機関のライセンスキーを追加登録してください。 ⇒業務編「 1.4 利用金融機関の追加（ライセンスキーの追加） 」参照

2.1.4 ライセンス入力エラー

No	エラーメッセージ	対処方法
1	入力されたライセンスキーは既に登録済みです。	左記メッセージ内容に沿って対応ください。
2	有効なライセンスキーではありません。	<p>入力したライセンスキーが正しくありません。以下の点を確認して再度入力してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✚ ライセンスキーは半角で入力してください。 ✚ 大文字/小文字は区別して入力してください。 ✚ 「0 (ゼロ)」と「0 (オー)」、「1 (イチ)」と「I (アイ)」など、読み間違えやすい箇所を確認してください。
3	入力されたライセンスより新しいバージョンが既に登録済みです。	入力したライセンスキーよりも新しいライセンスが既に登録済みであるため、入力したライセンスキーの登録は不要です。
4	<p>入力されたライセンスキーは本インストーラでは登録できません。</p> <p>ライセンスキーの提供元金融機関のインストーラを使用してください。</p>	<p>入力したライセンスキーは、ライセンスキーの提供元金融機関で用意するインストーラで登録する必要があります。</p> <p>ライセンスキーの提供元金融機関から取得したインストーラを実行し、ライセンス登録を実施してください。</p>
5	<p>インストーラ内の金融機関ライセンスは既に登録済みです。</p> <p>利用可能な金融機関は「登録済ライセンス情報確認画面」においても確認できます。</p> <p>・金融機関コード 「{x}」 バージョン 「{y}」</p>	<p>使用したインストーラで登録可能な金融機関のライセンスは既に登録済みです。</p> <p>※使用したインストーラで登録済みのライセンス情報(xには金融機関コード、yにはバージョン)が表示されます。</p> <p>他金融機関のライセンスを追加する場合は、ライセンスキーの提供元金融機関のインストーラを使用してください。</p>

2.1.5 業務チェックエラー

No	エラーメッセージ	対処方法
1	“発生記録（予定）日”には本日以降、1ヶ月以内の日付を入力してください。	左記メッセージ内容に沿って対応ください。
2	“譲渡記録（予定）日”には本日以降、1ヶ月以内の日付を入力してください。	左記メッセージ内容に沿って対応ください。
3	“支払期日”に“発生記録（予定）日”以前の日付、または“発生記録（予定）日”から1年後の翌日以降の日付が入力されています。“支払期日”には下さいネットで規定される範囲の日付を入力してください。	左記メッセージ内容に沿って対応ください。
4	“譲渡区分”が“全額”の場合、“譲渡金額”には 1 以上 9,999,999,999 以下の範囲の数値を入力してください。	左記メッセージ内容に沿って対応ください。
5	“譲渡区分”が“一部”の場合、“譲渡金額”には 10,000 以上 9,999,999,999 以下の範囲の数値を入力してください。	左記メッセージ内容に沿って対応ください。
6	合計金額が上限を超えています。	1ファイルで設定可能な合計金額は「999,999,999,999」以下になります。 金額を修正するか、ファイルを分けて作成してください。
7	取引先情報、保証情報がファイル内で同一ではありません。対象ファイルをご確認ください。	譲渡記録請求作成画面で読込む一括請求ファイルについて、ファイル内に設定する「譲渡先（取引先）情報」と「保証随伴有無」は、同一にしてください。 ⇒基本操作編「 6.4.4 一括請求ファイル(譲渡記録請求用)／譲渡記録請求(複数取引先)用 」参照
8	保証情報がファイル内で同一ではありません。対象ファイルをご確認ください。	譲渡記録請求（複数取引先）作成画面で読込む一括請求ファイルについて、ファイル内に設定する「保証随伴有無」は、同一にしてください。 ⇒基本操作編「 6.4.4 一括請求ファイル(譲渡記録請求用)／譲渡記録請求(複数取引先)用 」参照

No	エラーメッセージ	対処方法
9	請求者情報がファイル内で同一ではありません。対象ファイルをご確認ください	<p>譲渡記録請求作成画面／譲渡記録請求（複数取引先）作成画面で読込む一括請求ファイルについて、ファイル内に設定する「譲渡記録（予定）日」と「譲渡人（請求者）情報」は、同一にしてください。</p> <p>⇒基本操作編「6.4.4 一括請求ファイル(譲渡記録請求用／譲渡記録請求(複数取引先)用)」参照</p>
10	{x}がファイル内で同一ではありません。対象ファイルをご確認ください。	<p>発生記録（債務者）請求作成画面／発生記録（債権者）請求作成画面／譲渡記録請求作成画面／譲渡記録請求（複数取引先）作成画面で読込むCSVファイルについて、フォーマット形式が「ヘッダレコード無」である任意フォーマットの読込CSVフォーマットを使用する場合、ファイル内に設定するヘッダ情報は、同一にしてください。</p> <p>x には各請求作成画面のヘッダ情報の名称（債務者（請求者）情報等）が表示されます。</p> <p>⇒基本操作編「6.3.2 発生記録(債務者)請求用CSVファイル」「6.3.3 発生記録(債権者)請求用CSVファイル」「6.3.4 譲渡記録請求用CSVファイル」「6.3.5 譲渡記録請求(複数取引先)用CSVファイル」参照</p> <p>⇒ヘッダレコード無フォーマットについては、CSVフォーマット設定編「4.1.2 ヘッダレコード無フォーマット」参照</p>

2.1.6 利用者管理エラー

No	エラーメッセージ	対処方法
1	取引先情報が表示できません。取引先管理画面でご確認ください。	登録した取引先情報が何らかの理由（ファイル破損等）で表示できません。 取引先管理画面を開いて再度登録してください。
2	社内口座情報が表示できません。社内口座管理画面でご確認ください。	登録した社内口座情報が何らかの理由（ファイル破損等）で表示できません。 社内口座管理画面を開いて再度登録してください。
3	管理情報が読込めません。初期状態の画面が表示されますので、内容を再度入力の上、更新してください。	登録した取引先情報または社内口座情報が何らかの理由（ファイル破損等）で表示できません。 再度情報を登録してください。
4	取引先情報が読込めません。取引先管理画面でご確認ください。	登録した取引先情報が何らかの理由（ファイル破損等）で読込めません。 取引先管理画面を開いて再度登録してください。
5	社内口座情報が読込めません。社内口座管理画面でご確認ください。	登録した社内口座情報が何らかの理由（ファイル破損等）で読込めません。 社内口座管理画面を開いて再度登録してください。
6	取引先情報に金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号が重複したレコードが存在します。取引先管理画面でご確認ください。	取引先管理画面を開いて口座情報（金融機関コード／支店コード／口座種別／口座番号）が重複したレコードが存在しないよう、修正してください。
7	社内口座情報に金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号が重複したレコードが存在します。社内口座管理画面でご確認ください。	社内口座管理画面を開いて口座情報（金融機関コード／支店コード／口座種別／口座番号）が重複したレコードが存在しないよう、修正してください。
8	取引先情報に取引先IDが重複したレコードが存在します。取引先管理画面でご確認ください。	取引先管理画面を開いて取引先IDが重複したレコードが存在しないよう、修正してください。
9	社内口座情報に社内口座IDが重複したレコードが存在します。社内口座管理画面でご確認ください。	社内口座管理画面を開いて社内口座IDが重複したレコードが存在しないよう、修正してください。

No	エラーメッセージ	対処方法
10	取引先情報に利用者番号、金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号が重複したレコードが存在します。取引先管理画面でご確認ください。	取引先管理画面を開いて利用者番号、口座情報（金融機関コード／支店コード／口座種別／口座番号）が重複したレコードが存在しないよう、修正してください。
11	社内口座情報の移行に失敗しました。	<p>社内口座情報の移行により、移行先の社内口座管理が保持することのできるデータ件数の上限を超えるため、移行を行うことができません。</p> <p>社内口座管理画面を開いて、移行先のデータ件数と移行元の対象金融機関コードのデータ件数の合計が上限値を超えないよう、データ件数を修正してください。</p>

2.1.7 CSV フォーマット設定エラー

No	エラーメッセージ	対処方法
1	読込CSVフォーマットが設定されていません。読込CSVフォーマット詳細設定画面で設定してください。	読込CSVフォーマットの詳細情報が設定されていません。 読込CSVフォーマット詳細設定画面を開いて設定してください。
2	出力CSVフォーマットが設定されていません。出力CSVフォーマット詳細設定画面で設定してください。	出力CSVフォーマットの詳細情報が設定されていません。 出力CSVフォーマット詳細設定画面を開いて設定してください。
3	読込CSVフォーマットが読込めません。読込CSVフォーマット詳細設定画面でご確認ください。	登録した読込CSVフォーマット情報が何らかの理由（ファイル破損等）で表示できません。 読込CSVフォーマット詳細設定画面を開いて対象のCSVフォーマットを修正してください。 または、システム設定画面の[削除]にて対象のCSVフォーマットを削除し、CSVフォーマット新規作成画面より再度情報を登録してください。
4	出力CSVフォーマットが読込めません。出力CSVフォーマット詳細設定画面でご確認ください。	登録した出力CSVフォーマット情報が何らかの理由（ファイル破損等）で表示できません。 出力CSVフォーマット詳細設定画面を開いて対象のCSVフォーマットを修正してください。 または、システム設定画面の[削除]にて対象のCSVフォーマットを削除し、CSVフォーマット新規作成画面より再度情報を登録してください。
5	CSVフォーマット保持上限件数（x件）を超えているため、新規作成できません。	保持することができるCSVフォーマットの数が増えすぎたため、CSVフォーマットの新規作成を行うことができません。 不要になったCSVフォーマットを削除してください。
6	対象の CSV フォーマットは削除できません。	一括請求Assist標準のフォーマットは削除できません。
7	対象の CSV フォーマットは修正できません。	一括請求Assist標準のフォーマットは修正できません。

No	エラーメッセージ	対処方法
8	CSV フォーマットの設定ファイルが読込めません。初期状態の画面が表示されますので、内容を再度入力の上、保存してください。	登録した読込CSVフォーマット情報または出力CSVフォーマット情報が何らかの理由（ファイル破損等）で表示できません。 再度情報を登録してください。
9	CSV フォーマットの設定ファイルが存在しないため、標準の CSV フォーマットが設定されました。システム設定画面でご確認ください。	システム設定画面で設定した使用フォーマットのCSVフォーマット情報が何らかの理由（ファイル削除等）で読込めません。一括請求Assist標準のCSVフォーマットが使用フォーマットとして設定されます。 （初回起動時は必ず表示されます。） 任意のCSVフォーマットをご利用になる場合は、システム設定画面を開いて再度使用フォーマットを設定してください。
10	対象の CSV フォーマットファイルは読込めません。	読込んだ読込CSVフォーマット情報または出力CSVフォーマット情報が何らかの理由（ファイル破損等）で読込めません。 システム設定画面の[ファイル出力]にて再度対象のCSVフォーマットファイルを出力し、ファイル読込を実行してください。 対象のCSVフォーマットファイルが削除済みである場合は、CSVフォーマット新規作成画面より再度情報を登録してください。
11	対象のファイルは、読込用の CSV フォーマットファイルです。対象ファイルをご確認ください。	読込んだCSVフォーマット情報の読込／出力区分が誤っています。 読込用のCSVフォーマットファイルは、システム設定画面の「読込CSV設定」の[ファイル読込]にて、ファイル読込を実行してください。
12	対象のファイルは、出力用の CSV フォーマットファイルです。対象ファイルをご確認ください。	読込んだCSVフォーマット情報の読込／出力区分が誤っています。 出力用のCSVフォーマットファイルは、システム設定画面の「出力CSV設定」の[ファイル読込]にて、ファイル読込を実行してください。
13	対象の CSV フォーマットはファイル出力できません。	一括請求Assist標準のフォーマットはファイル出力できません。

No	エラーメッセージ	対処方法
14	対象の CSV フォーマットの設定ファイルが読み取れません。対象の CSV フォーマットを削除し、新規作成してください。	対象の読み込 CSV フォーマット情報または出力 CSV フォーマット情報が何らかの理由（ファイル破損等）で読み取れません。 システム設定画面の [削除] にて対象の CSV フォーマットを削除し、CSV フォーマット新規作成画面より再度情報を登録してください。

2.1.8 システムエラー

No	エラーメッセージ	対処方法
1	予期しないエラーが発生しました。	何らかの原因でシステムエラーが発生しました。 以下の順に対処を実施してください。
2	システム設定ファイルが読み取れません。	✚ 本ソフトを終了・再起動の上、再度操作してください。
3	ファイル書き込み中にエラーが発生しました。	✚ 本ソフトを使用している PC をシャットダウン・再起動の上、再度操作してください。 ✚ 本ソフトをアンインストール・再インストールの上、再度操作してください。

2.1.9 その他エラー

No	エラーメッセージ	対処方法
1	一括請求Assist Ver. 2は既に起動しています。	本ソフトを二重に起動することはできません。 既に起動しているソフトを使用してください。
2	日本語環境で起動してください。	本ソフトを日本語環境以外で起動することはできません。 コントロールパネル>地域と言語のオプションで「日本語」に設定されていることを確認してください。
3	ファイル出力先の長さが上限を超えています。ファイル出力先には220文字以内のパス名を設定してください。	設定可能なファイル出力先のパスの長さは、220文字以下となります。 220文字以内の出力先を設定してください。
4	ファイル出力先への書込み権限がありません。システム設定画面でファイル出力先を変更してください。	指定されたファイル出力先へのアクセス権限がない可能性があります。有効なアクセス権限となっているか確認してください。 必要に応じて、ファイルの出力先を変更してください。
5	ファイル出力先へアクセスできません。システム設定画面でファイル出力先を変更してください。	指定されたファイル出力先へのネットワーク接続がされていない可能性があります。有効なネットワークに接続されているか確認してください。 必要に応じて、ファイルの出力先を変更してください。
6	既に一括請求Assist Ver. 2はインストール済です。アンインストールを実行しますか？	本ソフトをインストール済の状態、本ソフトのインストーラを実行すると、本ソフトがアンインストールされます。アンインストールする場合、続けて[はい]を押下してください。 本ソフトをインストール済で複数金融機関をご利用の場合、インストーラにてご利用の金融機関のライセンスキーを追加登録してください。 ⇒業務編「 1.4 利用金融機関の追加（ライセンスキーの追加） 」参照
7	設定ファイルが読み込めません。一括請求Assist Ver. 2を起動し、設定ファイルを作成してください。	本ソフトをインストール後、初回起動しないと設定ファイルが作成されないため、本ソフトを一度起動してから、再度実施してください。

No	エラーメッセージ	対処方法
8	<p>日付（短い形式）はyyyy/MM/ddを設定してください。</p>	<p>「日付（短い形式）」が「yyyy/MM/dd」以外の場合、本ソフトを起動することはできません。</p> <p>以下の順に設定を変更してください。</p> <p>◇Windows Vistaの場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コントロールパネルを表示 2. 「地域と言語のオプション」を選択（表示方法はカテゴリ） 3. 「形式」タブを選択 4. 「この形式のカスタマイズ」を押下 5. 「地域のオプションのカスタマイズ」にて「日付」タブを選択 6. 「短い形式」を「yyyy/MM/dd」に設定する <p>◇Windows Vista以外の場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コントロールパネルを表示 2. 「地域と言語」を選択（表示方法はカテゴリ） 3. 「形式」タブを選択 4. 「日付（短い形式）」を「yyyy/MM/dd」に設定する
9	<p>アップデート後の初回起動は、アップデートを実施した管理者権限（Administrator または Administrators）のユーザにてデスクトップ上の本ソフトアイコンを右クリックのうえ、「管理者として実行」を行ってください。</p>	<p>本ソフトをアップデート後、初回起動する際に更新するファイルが、本ソフトを実行したユーザの権限では操作できません。</p> <p>アップデートを実施した管理者権限（AdministratorまたはAdministrators）のユーザにて、デスクトップ上の本ソフトアイコンを右クリックのうえ、「管理者として実行」を行ってください。</p>

2.1.10 連携エラー

No	エラーメッセージ	対処方法
1	CSVファイルの作成に必要な項目数が不正です。CSVファイルの作成は中止されました。出力CSVフォーマット詳細設定が正しいかご確認ください。	<p>出力CSVフォーマット詳細設定画面のCSV項目数、項目番号が変更された可能性があります。出力CSVフォーマット詳細設定画面を開いて確認してください。</p> <p>連携用の出力CSVフォーマットの初期値については、各連携編の「【参考】出力CSVフォーマット詳細設定画面の初期設定値」を参照してください。</p>
2	<p>CSVファイルの作成に必要な項目が空です。CSVファイルの作成は中止されました。事前設定をご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 出力CSVフォーマット詳細設定の固定値 取引先情報の金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号 取引先情報の取引先ID 	<p>◇出力CSVフォーマット詳細設定画面の固定値が設定されていません。出力CSVフォーマット詳細設定画面を開いて確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 出力CSVフォーマットに「連携用_勘定奉行i8」フォーマットを設定している場合 <ul style="list-style-type: none"> 借方勘定科目コード 貸方勘定科目コード 部門コード 出力CSVフォーマットに「連携用_会計X」フォーマットを設定している場合 <ul style="list-style-type: none"> 借方勘定科目コード 貸方勘定科目コード 借方部門コード 貸方部門コード <p>◇通知ファイル内の取引先情報が取引先管理画面に設定されていません。取引先管理画面を開いて確認してください。</p> <p>◇通知ファイル内の取引先情報に対応する、取引先管理画面の取引先IDが設定されていません。取引先管理画面を開いて確認してください。</p>

No	エラーメッセージ	対処方法
3	<p>CSVファイルの作成に必要な項目の桁数が上限を超えています。CSVファイルの作成は中止されました。事前設定をご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出力CSVフォーマット詳細設定の固定値 ・取引先情報の取引先ID 	<p>◇出力CSVフォーマット詳細設定画面の固定値が会計ソフトで定められた桁数以上で登録されています。出力CSVフォーマット詳細設定画面を開いて確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出力CSVフォーマットに「連携用_勘定奉行i8」フォーマットを設定している場合 <ul style="list-style-type: none"> 借方勘定科目コードが5桁以上はエラー 貸方勘定科目コードが5桁以上はエラー 部門コードが5桁以上はエラー ・出力CSVフォーマットに「連携用_会計X」を設定している場合 <ul style="list-style-type: none"> 借方勘定科目コードが11桁以上はエラー 貸方勘定科目コードが11桁以上はエラー 借方部門コードが7桁以上はエラー 貸方部門コードが7桁以上はエラー <p>◇取引先管理画面の取引先IDが会計ソフトで定められた桁数以上で登録されています。取引先管理画面を開いて確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出力CSVフォーマットに「連携用_勘定奉行i8」フォーマットを設定している場合 <ul style="list-style-type: none"> 取引先IDが14桁以上はエラー ・出力CSVフォーマットに「連携用_商奉行i8」フォーマットを設定している場合 <ul style="list-style-type: none"> 取引先IDが14桁以上はエラー ・出力CSVフォーマットに「連携用_会計X」フォーマットを設定している場合 <ul style="list-style-type: none"> 取引先IDが11桁以上はエラー

No	エラーメッセージ	対処方法
4	<p>会計連携処理に必要な環境がありません。CSVファイルの作成は中止されました。詳細は操作マニュアルを参照してください。</p>	<p>本ソフトの動作に必要なファイルの拡張子の関連付けが初期設定から変更されているため、以下のいずれかの方法で設定を変更してください。</p> <p>◇Windows Vista の場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コントロールパネルを表示 2. 「プログラム」を選択 3. 「既定のプログラム」内の「あるファイルの種類を特定のプログラムで開く」を選択 4. 「.wsf」の「現在の規定プログラム」を「Microsoft ® Windows Based Script Host」に設定する <p>◇Windows Vista 以外の場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コントロールパネルを表示 2. 「プログラム」を選択（表示方法はカテゴリ） 3. 「既定のプログラム」内の「あるファイルの種類を特定のプログラムでオープン」を選択 4. 「.wsf」の「現在の規定プログラム」を「Microsoft ® Windows Based Script Host」に設定する

3 問い合わせ先について

3.1 本ソフトの操作及び不明点等について

取引先の金融機関の本ソフト提供窓口にお問い合わせください。

3.2 電子記録債権や記録請求の取引内容等について

取引先の金融機関の電子記録債権取引システム窓口にお問い合わせください。

一括請求 Assist[®] Ver.2 操作マニュアル

トラブルシューティング

平成 26 年 8 月 18 日 第 2.1 版 発行（平成 26 年 8 月 29 日 改訂）

- ・本書の内容の一部あるいは全部（ソフトウェアおよびプログラムを含む）は、電子記録債権サービスである「でんさいネット」を使用する目的に限り使用できるものとします。
- ・なお、無断で複写・複製・転載・配布すること、および磁気または光記録媒体、コンピュータネットワーク上等へ入力することは、法律で認められた場合を除き、一括請求 Assist の著作者および販売者の権利の侵害となります。
- ・本マニュアルに記載された内容、および本ソフトの仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。